【教育の視点】19 世紀の子供たちが読めて、現代人が「読めない」理由：AI 時代に守るべき知の基礎体力

キッズブラウン・パートナー教室 オーナー様、先生方各位

いつも大変お世話になっております。KidsBrown Japan 編集部です。

先日、私は 1 週間をかけて『トム・ソーヤの冒険（The Adventures of Tom Sawyer）』の原書を読み終えました。このレベルの洋書を 2 週間で読破できた背景には、自分なりの「リーディング・ノウハウ」があります。

- **「1 日 20〜30 ページ」を目標に、決して焦らずゆっくり読むこと**
- **途中で退屈になったら、いつでも一度ストップすること**
- **知らない単語が出現しても、後でもう一度読む覚悟で、絶対に辞書を引いて読書の直感的なリズムを崩さないこと**

何よりも、私たちが開発している「英語革命（ER）」メソッドの根幹である「徹底的に主語＋動詞の順という英語の語順通りに、日本語で頭の中に風景（ストーリーボード）を浮かべながら読む」という身体感覚が、最大の効果を発揮しました。

今週は、この読書体験から見えてきた「時代による読解力の変化」、そして急速に拡大する「AI 依存への危機感と可能性」について、私自身のリアルな考察を共有したいと思います。

1. 19 世紀の文学が突きつける「読解力低下」の謎

まず『トム・ソーヤの冒険』を読んで驚かされるのは、ネイティブにとっても「とても少年少女が読むレベルではない」という、文章や語彙の圧倒的な難易度の高さです。ストーリー自体は小学生に最適な内容であるにもかかわらず、なぜマーク・トウェインはこれほど難解な文体で書いたのでしょうか。

理由を調べてみると、非常に興味深い事実が浮かび上がってきました。 1876 年の出版当時（19 世紀後半）の子供たちは、現代の基準よりも遥かに高いレベルの文語体（書き言葉）に日常的に触れていました。その最大の理由が「聖書中心の言語生活」です。当時の子供たちは幼少期から『キング・ジェームズ聖

書（欽定訳聖書）』のような、古風で極めて複雑な文体を日常的に読み聞きして育っていたのです。

つまり、現代に向けて人々の読解力が低下してきた背景には、「聖書の現代語訳が進んで平易になったこと」や「聖書を熱心に読む習慣が薄れたこと」が大きく影響していると分析できます。

これを日本や韓国の環境に置き換えると、極めて納得のいく縮図が見えてきます。

- **漢字（漢文・語彙）を読めなくなったこと**
- **教科書が扱いやすい「易しい文体」や「短文中心」にシフトしたこと**
- **学習漫画や動画など、視覚情報でのインテーク（吸収）が増えたこと**

これらの要因により、40〜50 年前の高校生と現代の高校生とでは、テキストを読み解く「深さ（読解力）」において、トム・ソーヤの例と同じように顕著な格差が生まれているのです。

2. 「AI 依存」への本能的な危機感と、その反対給付

そして今、私たちの目の前には「AI」というさらなる変革期が訪れています。正直に申し上げれば、私自身も日常における AI への依存度が日に日に大きくなっているのを感じています。

要点だけを提示すれば、精度の高い文章やメールの草案を瞬時に作成してくれる。思考のプロセスの多くを AI に委ねることは、圧倒的に効率的で「楽」です。しかしだからこそ、私の心の中では**本能的な危機感**が膨らみ続けています。

「このままでは、人間が自ら深く考え、文章を紡ぎ出す能力が著しく減退していくのではないか」

情報を咀嚼してもらう便利さと引き換えに、私たちは思考の足腰を失いつつあるのかもしれません。しかし、物事には常に両面があります。AI を活用することで得られる「反対給付（メリット）」として、私たちは「圧倒的なスピードで手に入る質の高い成果物」**を得ています。さらに、AI を対話のパートナーとして繰り返し活用し、その思考プロセスをインプットし続けることで、**「人間

側の論理的思考力をさらに引き上げ、自らの知識を拡張していくこと」も、方法次第では十分に可能であるはずです。AI 技術は、今まさに発展途上の段階にあります。

KidsBrown Japan 編集部 公式サイト: https://kidsbrown.jp

💡 **オーナー様へのアドバイス：** 今回は「19 世紀の子供たちの読解力」と「現代の AI 依存」を結びつけ、なぜ今、民間教室での『ストーリーリーディング』が子供たちの将来の生存戦略になるのかを本質的に語る内容です。 保護者様との面談や懇談会で、「今は AI が数秒で答えを出してくれる便利な時代ですが、だからこそ『自分で文字を追い、文脈を推測する力』を幼児期から育てておかないと、将来自分の頭で思考できない子になってしまいます。KidsBrown で英語の語順のまま原書を読み解く基礎体力をつけることは、10 年後、20 年後に周りと圧倒的な差をつける最大の知的財産になります」とお話ししてみてください。お教室の教育方針への共感と信頼がより一層強固になります。